

# 2021年11月10日(水曜日)の下野新聞に 「朝カフェ」について掲載されました!

パン・アキモトでパンを支援しております。

## 那須塩原の共英小

## 市内NPOが平日毎日

# 児童に朝食「朝カフェ」

朝カフェでパンを選ぶ児童たち



「おいしそう」。8日午前7時半、朝カフェの会場である校長室に一番乗りで訪れた子どもたちの元気な声が響いた。テーブルに置かれた籠に並んだのは総菜パンにバナナ、固形チーズ、即席スープ、紅茶など。それぞれ好きな物を手に取って椅子に座り、笑顔で頬張った。2年の女子児童は「朝ご飯は家で食べたけど、学校まで歩いたらおなかがいちゃった」と笑顔。校長室には登校した児童が次々と訪れ、やがて入りきらないほどに。約30分後には飲み物を除いて用意した食材がほぼなくなった。

【那須塩原】市内のNPO法人「子どもの育ちを応援する会」は8日、共英小で児童にパンやスープなどの軽食を無料で提供する「朝カフェ」を始めた。貧困や共働きなど、さまざまな事情で朝食を用意できない家庭の子どもへの支援が目的だが、当事者が気まずい思いをしないよう誰でも利用できる形式にした。市社会福祉協議会や地元企業と協力しながら平日は毎日続けるという。(生澤一浩)

# パン、スープなど無料提供

「本当に困っている児童が恥ずかしさを感じることがないように、イベント性を持たせて誰でも来られるようにした」と朝カフェの狙いを説明。同校の小平幸恵校長(58)は「想像以上の反響で驚いた。皆さんの力を借りながら、細く長く続けていければ」と話した。

同法人は今年3月から同校で月1回ペースの弁当の無料配布(大人は有料)を実施。今回のスープ類などは弁当の売り上げで購入し、パンは東小屋の「パン・アキモト」から前日に売れ残ったものを寄付してもらった。

吉成晴香理事長(39)は「家庭や県道沿いの切り通しから、ナイフ型石器」

## 魔よけにトウガラシ飾り

大田原の西原小で作り方授業



虹川さん(左)に教わりながら飾りを作る児童たち

【大田原】地域おこし協力隊の虹川裕さん(37)がこのほど、西原小でトウガラシを使った飾りを作る授業を行った。虹川さんは中産トウガラシのPRのため、市内の小学校で児童が栽培したトウガラシを使ったり油や七味の作り方を教えた。

今回は初めてトウガラシ飾りに取り組んだ。魔よけのお守りの意味もあり、インターネットなどに使われている。3年生の児童たちは2人1組になって、麻ひもに約10個のトウガラシを結び付けた。20個以上のトウガラシを結んだ児童もいた。宮島怜那さん(9)は「難しかったが、友達と協力できて楽しかった。きれいに作れたので家に飾りたい」と笑顔を見せた。虹川さんは10月末で協力隊員を退任

那須烏山「レスト施設の子ど